

東近江市のまちづくり協議会

平成30年度 各地区の取り組み



まちづくり協議会のあゆみ

◇東近江市の誕生

平成17年2月11日に1市4町（八日市市・永源寺町・五個荘町・愛東町・湖東町）が合併。その後、平成18年1月1日に蒲生町・能登川町と合併し、現在の形になりました。

と、同時に…

少子高齢化や人口減少で、十分な行政サービスは困難になるのでは？

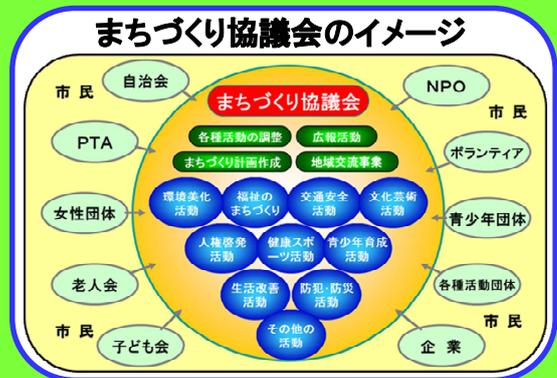
各地区の個性や伝統文化が失われるのでは？



◇まちづくり協議会の誕生

そこで、市民が自主的に参加して、それぞれの地域課題を解決し、各地域の個性を活かしたまちづくりを行うため、東近江市の14地区すべてで「まちづくり協議会」が組織されました。

その活動は、地域のためという熱い思いとボランティア精神で行われています。



協議会名	地区人口 (人)	協議会設立日	コミュニティセンター 指定管理開始日
平田地区まちづくり協議会	3,122	平成17年 12月23日	平成23年 1月1日
市辺地区まちづくり協議会	4,206	平成19年 2月25日	平成23年 10月1日
玉緒地区まちづくり協議会	4,825	平成18年 12月10日	平成24年 1月1日
御園地区まちづくり協議会	8,792	平成18年 10月21日	平成24年 10月1日
建部地区まちづくり協議会	3,070	平成18年 2月25日	平成23年 10月1日
中野地区まちづくり協議会	7,882	平成18年 12月9日	平成24年 4月1日
八日市地区まちづくり協議会	6,192	平成18年 12月2日	平成24年 4月1日
南部地区まちづくり協議会	7,850	平成17年 9月19日	平成23年 4月1日
永源寺地区まちづくり協議会	5,300	平成17年 9月30日	平成26年 4月1日
五個荘地区まちづくり協議会	11,836	平成18年 3月18日	平成25年 4月1日
愛東地区まちづくり協議会	4,743	平成17年 5月21日	平成24年 10月1日
湖東地区まちづくり協議会	8,515	平成17年 7月14日	平成24年 4月1日
(一社)能登川地区まちづくり協議会	23,328	平成19年 3月10日	平成24年 4月1日
蒲生地区まちづくり協議会	14,821	平成18年 11月18日	平成25年 4月1日

※人口は平成30年10月1日現在

※(一社)能登川地区まちづくり協議会は、平成25年4月1日に法人化されました。

◇コミュニティセンターを活動拠点に

平成 23 年 1 月 1 日に、平田地区まちづくり協議会による平田コミュニティセンターの指定管理が開始され、平成 26 年 4 月 1 日からは、すべてのコミュニティセンターでまちづくり協議会による指定管理がスタートしました。



▲指定管理運営開始式での鍵の受渡し

◇協働のまちづくり条例

平成 26 年 4 月に「協働のまちづくり条例」が施行され、その中で、まちづくり協議会の位置づけ等も定められました。まちづくり協議会は、まちづくりに包括的に取り組む団体として、また、行政の重要な協働のパートナーとして、ますます活躍が期待されています。



14 地区のまちづくり協議会
合同で実施している交流会。
地域担当職員も一緒に

市自治会連合会と一緒に、
朝来市・丹波市へ視察研修



東近江市協働のまちづくり条例（抜粋）

（まちづくり協議会）

第 18 条 まちづくり協議会とは、地区の課題解決と個性を生かしたまちづくりに取り組むため、多様な主体が参加して自主的に設置する地域自治組織をいう。

2 市は、次の各号の要件を満たすまちづくり協議会を、一地区について一団体を認定するものとする。

(1) 地区自治会連合会等の多様な主体が参画し、地区のまちづくりに包括的に取り組んでいること。

(2) 地区のすべての市民を対象としていること。

(3) 民主的な運営を行うため、規約を定めていること。

(4) 地区のまちづくりの基本方針等を定めた「地区まちづくり計画」を策定していること。

(5) 運営に当たる役員や代表者は、民主的に選出されたものであること。

(6) 運営の透明性が確保されていること。

3 市は、まちづくり協議会の認定後、前項に規定する要件を満たしていないと認めた場合は、改善を求めなければならない。

4 市は、まちづくり協議会の活動を尊重し、技術的及び財政的援助等の必要な支援を行うものとする。

5 市民は、まちづくり協議会の活動に積極的に参加し、相互の交流を深めながら協働するものとする。

6 まちづくり協議会は、地区の課題を解決するため、市及びその他の組織と協働してまちづくりを推進するものとする。

7 まちづくり協議会は、各地区コミュニティセンターをまちづくりの拠点とし、市と協働して運営するものとする。

● 平田地区まちづくり協議会

(愛称) ひらた夢回議

(テーマ、スローガン) 平田地区で、誰もが住み続けたい、住んでみたくなるまちづくり

【平成30年度】

設立日	平成17年12月23日	認定日(当初)	平成18年1月16日
コミセン 指定管理開始日	平成23年1月1日	認定日 (条例による認定)	平成27年4月1日
事務所 連絡先	〈所在地〉東近江市下羽田町84番地5 平田コミュニティセンター内 〈電話番号・FAX〉0748-22-1950 〈IP番号〉050-8034-1950 〈E-mail〉hirata-co@e-omi.ne.jp		
代表者	会長 村井 秀高	会員数	地区住民
会議・組織	本会役員 会長、副会長3人、会計、事務局長、会計監査2人 評議委員会 自治会長12人 企画運営委員会 本会役員(会計監事を除く)、特別部会長、専門部会長		
予算等の概要	総合交付金 1,400千円 指定管理会計 16,971千円 その他収入 647千円		
情報紙の発行	平田のみんなの情報誌「ひらたから」(A4版) 毎月発行 発行部数 1千部/月 主な内容 活動報告、行事案内、お知らせ 等		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	<p>■新しいまちづくりのスタート</p> <p>「平田地区で、誰もが住み続けたい、住んでみたくなるまちづくり」をめざして、若者定住、子育て応援、高齢者福祉、田園環境、地域活性化の5分野を重点テーマとする平田地区まちづくり計画(2017改定)がスタートしました。</p> <p>■自治会連合会との連携</p> <p>自治会連合会と連携を密にして効果的な事業推進に努め、毎年、自治会連合会との合同研修を行っています。</p> <p>■隣接するトレーニングセンター・平田グラウンドの管理運営について、平成31年4月からの指定管理に向けて計画準備を進めました。</p> <p>■子育て応援の充実</p> <p>子育てを地域で応援するまちづくりを進めるため、子育て中の親子の出会いと交流の場である地域子育て支援拠点「つどいの広場 すずかけっこ」を、平成31年4月からコミュニティセンターで開設するための計画づくりに取り組みました。</p>		



指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

【若者定住】

- ・「友コン ぶどう狩り&BBQ」
若者の出会いの場、友だちづくりを応援する事業を行った。



【子ども・子育て応援】

- ・子育てサークル「ほっと」の活動支援
0歳～就園前の子どもとその保護者がこのサークルに参加し、親子で一緒に遊びながら、育児の悩みや不安、喜び等を自由におしゃべりして、交流を深めています。

- ・「げんきっこ・ひらた」の活動
平田地区の小学生を対象に、地域での様々な体験と多様な人たちとの交流により、子どもの豊かな育ちと大人たちのつながりを深める活動を行っています。



【高齢者福祉】

- ・ひらた健康教室
高齢期を元気に過ごすため、楽しく歌って脳トレや自宅で出来る体操などを楽しく体験できる教室を開催しています。



【田園環境】

- ・「平田の田園環境」写真コンテスト
平田地区の豊かな自然や人々の暮らしなど、地域を象徴する田園風景を写真を通じて多くの方に知ってもらい、地域の魅力発見や地域への愛着につなげる目的で開催しています。
- ・地域散策ガイド事業
散策路の補修や倒木処理など、雪野山登山の安全確保を実施しています。

【地域活性化】

- ・春の雪野山自然観察&ハイキング
4月22日(日)雪野山の自然観察を行い、自然の不思議発見や楽しみ方を学びました。
- ・ふるさと歴史再発見事業
雪野山古墳などの歴史文化遺産や豊かな自然環境、さらには伝統に培われた人々の暮らし等を地域の魅力と捉え、地域再生につなげる取組として、地域に残る歴史・文化を次の世代に伝えること等を目的に取り組みました。



【公園管理運営】

- 雪野山歴史公園・華岳山公園の指定管理者として、多くの方に、安全に楽しく利用していただけるよう管理運営を行っています。



● 市辺地区まちづくり協議会

(愛称) 万葉のまち 市辺

(テーマ、スローガン) このまちで心豊かに住みつづけたい

【平成30年度】

設立日	平成19年2月25日	認定日(当初)	平成19年3月1日
コミセン 指定管理開始日	平成23年10月1日	認定日 (条例による認定)	平成27年4月1日
事務所 連絡先	〈所在地〉東近江市市辺町2391番地 市辺コミュニティセンター内 〈IP番号・FAX〉050-5802-3392 〈E-mail〉info@ichinobe.com 〈ホームページ〉http://www.ichinobe.com/		
会議・組織	役員会 9人(会長・副会長・事務局長・コミセン業務主任者・会計・会計監事) 運営委員会 32人(役員・全自治会長・各種団体代表・まちづくり部会長) まちづくり部会 95人(広報6 自然環境36 地域活力10 歴史・文化13 安全・安心13 健康・福祉9 こども健全育成8)		
代表者	会長 須田 智廣	会員数	107人
予算等の概要	一般会計 1,960千円 指定管理会計 12,808千円		
情報紙の発行	まち協広報誌「万葉のまち市辺」43号～46号を発行 〈主な内容〉「マクロビオテック」「市辺歴史発見塾」「蒲生野万葉短歌会」 「凧作り」「コンポスト、市辺農園」「防災マップ・AED講習」 「ムラサキ栽培」「減災のまちづくりプロジェクト」		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	○指定管理 まち協、各種団体と協働した事業展開に積極的に取り組んでいます。 ・こども夏祭り、ふれあい学級、歩こう会、うたごえ喫茶、人権講座、 福祉推進会議、防災研修、各種サークル活動支援、短期講座、 歴史散策、映画会、グランドゴルフ大会、等 ・三大事業(運動会・万葉フェスタ・文化祭) ○組織運営 ・役員会、専門部会長会議を随時開催し、各部会の活動状況を共有、 またコミセン指定管理事業含め問題解決の為に協議をしています。 ○自治会連合会や各種団体との連携 ・自治会連合会の協力を頂き、まち協役員・安全安心部会メンバーで 『減災のまちづくりプロジェクト』3年目の活動が活発に展開中。 ○まちづくり活動のPR ・蒲生野万葉短歌会 第6回(一般の部90首、小中学の部1,360首) ・万葉フェスタ 短歌表彰式・凧作り・防災・カフェ等で参画 ・市辺歴史発見塾 講演会開催(ムラサキ)、DVD作成(虫送り) ・生ごみの減量 コンポスト普及活動・市辺農園・研修旅行等 ・マクロビオテック 健康食品教室(酵母パン・玄米)、ミニ講座 ・こども健全育成 凧作りに挑戦(万葉フェスタ会場にて) ・ゆるキャラPR 「いちのん・いちのべー」11月文化祭で展示		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介



いちのべ万葉フェスタ



桑名市深谷地区自治会連合会との交流研修会



市の花「ムラサキ」講演(前川真司氏)



市辺歴史発見塾「御代参街道を歩く」



市辺歩こう会



わくわくこらぼ村に参加



環境研修会「ひらかた夢工房」見学



減災のまちづくりプロジェクト



市辺地区文化祭

● 玉緒地区まちづくり協議会

(愛称) ハートフル玉緒

(テーマ、スローガン) 自然と共生し、みんなで創る輝く玉緒



【平成30年度】

設立日	平成18年12月10日	認定日(当初)	平成18年12月14日
コミセン 指定管理開始日	平成24年1月1日	認定日 (条例による認定)	平成28年4月1日
事務所 連絡先	〈所在地〉東近江市大森町1030番地 玉緒コミュニティセンター内 〈電話番号・FAX〉0748-22-6479 〈IP番号〉050-5801-6479 〈e-mail〉tamaomachi02@gmail.com 〈Facebook〉玉緒地区まちづくり委員会		
代表者	会長 辰巳 育男	会員数	まちづくり委員 59人
会議・組織	まちづくり協議会 会長(前年自治連会長)、副会長2人(当年自治連会長・まちづくり委員会代表)、 事務局長(コミセン館長兼務)、事務局次長、会計、会計監事2人 まちづくり協議会全体部会 ハートフル玉緒自主防犯隊(147人) まちづくり委員会(コミセン指定管理後に協議会事業を引き継ぐ) 代表、副代表2人、事務局長、会計、会計監査2人 計7人 運営委員会 役員、専門部会正副部会長、担当委員、コミセン館長 計17人 専門部会 環境保全整備部会、歴史教育部会、健康福祉部会、広報部会		
予算等の概要	総合交付金 1,589千円 指定管理料 11,900千円 その他収入 1,561千円		
情報紙の発行	・まちの情報誌「ハートフル玉緒」年3回発行(39~41号) その他の月は、コミセン「玉緒だより」を発行 部数 1,500部 ・まちづくり協議会(委員会)活動報告、文化・歴史・地域等の紹介		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	<まちづくり協議会活動> ① コミセンの指定管理に伴う管理運営 ② 協議会が、自治連・各種団体と共に3大事業(夏祭り・運動会・文化祭)の企画~運営を行っています。 ③ 「ハートフル玉緒自主防犯隊」による地域パトロール 自治連・各種団体が地域全体事業として、防犯・防災・安心の為に青パトカーによる巡回を実施しています。 <まちづくり委員会活動> ① 環境保全整備部会 里山整備、桜並木の整備(自治連・各種団体協働)、夜桜ライトアップ、里山フェスティバル、玉緒小の里山体験授業の支援 ② 地域歴史教育文化部会 史跡ウォーキング2回/年、文学祭の実施、布引小の課外学習支援・玉緒幼稚園の里山保育支援 ③ 健康スポーツ福祉部会 3B体操、体力測定・健康講座の開催 ④ 広報部会 地域の情報発信、「スマホで動画を撮ろう講座」の開催 ⑤ ハートフルコンサートの開催(みんなで歌おう)		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

① 布引山夜桜ライトアップ 4月7日(土)
8回目を迎え、春のイベントとしてすっかり定着してきました。玉緒・布引小学校卒業生のペットボトル「願い札」を点燈、地域住民150人余りが参加して、夜桜を楽しみました。今年は、2日前から夜桜をライトアップして盛り上げました。



② 桜並木の整備 6月10日(日)
まちづくり委員や自治会長、十数人が参加し、布引丘陵ウォーキング路のてんぐ巣病枝を除去し、チップにしました。



③ 玉緒史跡ウォーキング 6月16日(土)
50人余りが参加、布引丘陵ウォーキング路で講師より珍しい植物の解説を聞きました。



④ 里山フェスティバル 7月16日(月)
里山広場に幼稚園児・小学生親子160人余りが参加。カブト虫掴みやすべり台遊び、かき氷などで半日楽しみました。



⑤ 玉緒地区夏祭り 8月4日(土)
地域住民500人余りが参加し、暑い夏の夜をバザーや江州音頭で楽しみました。(今年は、初めて仮装した踊り手が参加)



⑥ 玉緒小学校4年生 第9回里山体験授業
11月にマキ割りや木を切る体験。基地づくりでは、素敵な小屋が出来上がりました。



⑦ ハートフルコンサート 12月8日(土)
よし笛の澄んだ演奏を聞き、「みんなで歌おう」では、ピアノ伴奏で十数曲歌いました。



● 御園地区まちづくり協議会

【平成30年度】

設立日	平成18年10月21日	認定日(当初)	平成18年10月30日
コミセン 指定管理開始日	平成24年10月1日	認定日 (条例による認定)	平成27年4月1日
事務所 連絡先	<所在地>東近江市五智町 351-2 御園コミュニティセンター内 <電話番号・FAX> 0748-22-0503 <IP電話> 050-8034-0503 <E-mail> misono-c@e-omi.ne.jp		
代表者	会長 森本 清	会員数	地区住民全員
会議・組織	役員会 7人(会長、副会長2名、顧問 事務局長) 運営委員会 34人(役員、各自治会会長、各活動部会長、会計) 活動部会 <ul style="list-style-type: none"> ・企画運営部、広報部 ・防犯ボランティアパトロール隊、かきみそのチャオ、学校支援活動部、健康に関する専門家会議、獣害対策部、秋まつり実行委員会、運動会実行委員会等 		
予算等の概要	総合交付金 1,999千円 指定管理料 11,771千円 その他収入 80千円		
情報紙の発行	【まち協みその】A4版4~8ページ 毎月発行 発行部数2,200部/回 ・まち協、自治連、コミュニティセンター、各種団体の広報紙としてひとつにまとめた情報紙を発行 ・主な内容：まち協、自治連、各種団体(子ども会、老ク連、体協、人権協、青少年育成会、社協等)、コミュニティセンターの活動紹介、まちの話題など		
指定管理や組織運営、自治連や各種団体との連携、まちづくり活動などで特にPRできること	<p>組織運営 会長は前年度の自治会連合会の会長が就任、当年度自治会連合会の会長は副会長となる。議決機関である運営委員会の委員に自治会長全員が就任することで、まち協と自治連との連携が図られています。また、まちづくり協議会の役員が地域の代表であることが住民の皆さんに認知されています。</p> <p>指定管理 まち協と自治連の事務局をコミュニティセンターに置き、事務局長をコミュニティセンター館長が兼任することで、コミュニティセンターをまちづくりの拠点とした活動ができています</p> <p>自治連、各種団体との連携 まち協が実施した全住民アンケートを自治会別に集計し、町別に行事や取組の評価/困り事/不安の確認/今後20年の人口推移を提供しました。この情報を元にして自治会の継続、発展に協働で取り組んでいます。 また、まち協では各種団体に地域活性化の活動提案を募り、事業費の支援を行うとともに共催事業を行っています。今年度は5団体とコラボしました。</p> <p>まちづくり協議会新しい取組 今年度、高齢者の健康に関する取組を開始、健康寿命を延ばすをテーマに意見交換会、ウォーキングイベント、歩き方教室などを開催しています。</p>		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

1 御園地区まちづくりの推進

1-1 高齢者の健康に関する取組み 1-2 健康寿命を延ばす取組



▲意見交換会
平成 30 年 9 月 19 日(水) 第 1 回
平成 30 年 10 月 17 日(水)第 2 回

- ①広報に健康豆知識シリーズで掲載
- ②健康講座・歩き方教室の開催
(2月23日)
- ③喜多酒造見学、歩こう会の開催
(2月26日)

5 各種団体支援事業



▲平成 30 年 12 月 15 日(土)
女性交流会を開催

2 防犯のまちづくり事業



▲平成 30 年 4 月 13 日(金)
御園小学校集団下校練習実施

防犯ボランティアパトロール



▲平成 30 年 7 月 19 日(金)
青パト隊員講習会を開催(新人 12 名)

6 獣害対策



▲平成 30 年 12 月 4 日(火)
獣害対策講座を開催

3 学校支援事業

3-1 ジャがいも掘り



▲平成 30 年 7 月 4 日(水)
わかあゆ・つばめ学級の児童と
一緒に行いました。

3-2 カレー作り



▲平成 30 年 7 月 17 日(火)
収穫したじゃがいもでカレー
を作り一緒にいただきました。

7 地域ふれあい事業

7-1 サクラまつり



▲平成 30 年 4 月 4 日(水)
第 1 回サクラまつりを愛知川河川
敷広場桜並木にて開催しました。

4 こども体験事業 (かき御園チャオグループ)

4-1 電車でお出かけ 4



▲平成 30 年 6 月 17 日(日)
『プラネタリウムへ行こう』を開催
みんなで電車に乗ってお出かけし
ました。

4-2 ペットボトルでピザ作り



▲平成 30 年 9 月 9 日(日)
『ペットボトルでピザを作ろう』を開催
ペットボトルに材料を入れおなかに抱い
て発酵しました。

7-2 秋祭り



▲平成 30 年 11 月 11 日(日)
御園小学校グラウンド・御園
コミュニティセンターにて
開催しました。

● 建部地区まちづくり協議会

(スローガン) 建部に生まれ、育ち、住んで良かったと言われる郷(さと)づくり
【平成30年度】

設立日	平成18年2月25日	認定日(当初)	平成18年3月2日
コミセン 指定管理開始日	平成23年10月1日	認定日 (条例による認定)	平成28年4月1日
事務所 連絡先	〈所在地〉東近江市建部日吉町31番地 建部コミュニティセンター内 〈電話番号・FAX〉0748-22-0303 〈IP番号〉0505-801-0303 〈e-mail〉tatebe-machikyo@e-omi.ne.jp		
代表者	会長 渡辺 康雄	会員数	個人会員58人、団体会員12団体
会議・組織	評議委員会 18人(自治会長) 運営委員会 17人(地域団体代表者、まち協役員) 役員会 15人(会長、副会長3人、事務局長、会計、部会長4人、コミセン館長、地域担当職員4人) 専門部会 4部会(環境美化、歴史文化、健康福祉、広報) 会員の範囲(建部地区に居住する住民で構成) ・個人会員(本会の趣旨に賛同し、参加する個人)58人 ・団体会員(自治会連合会及び本会の趣旨に賛同する地域団体)12団体		
予算等の概要	・一般会計 2,071千円(交付金1,226千円、自治会連合会助成金100千円、繰越金494千円、その他251千円) ・指定管理会計12,795千円		
情報紙の発行	地域の身近な情報誌として「建部だより」を毎月1回発行(年12回) A4版4~6頁(カラー) 発行部数1,000部/回		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	<ol style="list-style-type: none"> まち協役員および推進体制 <ol style="list-style-type: none"> 役員会は次の15人で構成。会長1人、副会長3人、事務局長1人、会計1人、専門部会長4人、コミセン館長1人、地域担当職員4人 役員会の活性化 役員会を毎月定期的に開催。議論を活発化させ、効率良く行うため、会議資料を充実し、議事録を作成する。 自治連、各地域団体との連携 <ol style="list-style-type: none"> 自治会連合会の会長がまち協の副会長に就任することで自治連との連携を図る。 12の地域団体長とまち協役員が、まち協の運営に関し定期的に協議する。 まち協の企画・運営および総会提出議案について意見を求めるため、自治会長で構成する評議委員会を必要に応じ開催する。 研修事業の推進 まち協会員および地域団体関係者を対象とした先進地研修を6月29日に実施。湖南中部浄化センターを訪問し、下水処理の仕組みを学び、安全で安心な住みよいまちづくりに生かしていく。 コミュニティセンターの指定管理の進捗状況 <ol style="list-style-type: none"> 指定管理の開始から8年目を迎え、地域住民の身近な施設として、また地域の皆さんに気軽に利用していただくため、開かれた施設運営を目指して取り組んでいく。 施設の設備改修や環境整備を行い、利便性の向上に努めていく。 コミセンに対する地域住民の意見を募り、今後の運営に反映していく。 		



まちづくり活動等の取り組み紹介

1. 建部里まつり（6月3日）

住民が交流し相互理解を深めるため、「森を学び・森で遊び・森で食す」をテーマに第4回建部里まつりを河辺いきものの森で開催しました。

森の探検、クイズラリー、木のジャングルジムや竹の薄切り大会、木工遊びなどを楽しみました。お昼には羽釜で炊いたかやくご飯や豚汁をおいしくいただきました。また、コーヒー、クッキー、パンの販売や無料のかき氷、綿菓子、ポン菓子などもあり、子どもから大人までが初夏の1日を楽しみました。



2. 建部三大まつりへの参画

実行委員会形式で行われている建部三大まつりに参画しました。

- ① ふるさと夏まつり（7月28日）は台風のため中止になりました。
- ② 地区運動会（10月7日）は台風のため中止になりました。
- ② 町民祭（11月11日）。まち協は豚汁・焼き鳥の販売や手作りのスマートボールの展示を行いました。

3. 建部幼稚園グラウンドの芝生管理支援

平成27年に建部幼稚園と協業してグラウンドに芝生を植えました。その後は芝刈りや冬芝種まき等の作業を支援し、園児に喜んでもらっています。



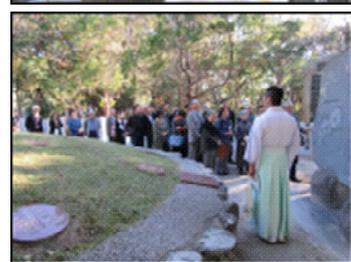
4. 環境美化事業への取り組み

- ① 生ゴミの減量化を図るため、ダンボールコンポストに取組みました。ダンボールコンポスト講習会を2回開催しました。（7月25日、11月17日）
- ② 植樹箇所およびポケットパークの草刈、コミセン前庭の剪定作業を年2回実施（6月9日、10月6日）
- ③ 愛知川左岸堤防のごみ拾い（12月2日）
- ④ コミセン周辺の年末清掃（12月20日）



5. 歴史文化事業への取り組み

- ① 歴史探訪として、11月3日に淡路国の一宮として古代から全国の崇敬を集めています伊弉諾(いざなぎ)神宮を訪ねました。神宮の由緒を学び、樹齢900年の夫婦大楠等を見学。当神宮には日吉神社宮司さんの娘さんが嫁がれているご縁もあります。
- ② 歴史講座（2月23日）
市内在住の刀匠・北川正忠氏を招き、日本刀の作られ方、また歴史や鑑賞のポイントをお話いただきました。



6. 健康福祉事業への取組み

- ① 子ども見守り活動として、毎月2回、3箇所でもち協会員による交通立番を行いました。
- ② 健康寿命を延ばし、高齢期を元気に楽しく過ごせるよう、「ロコモ健康教室」を年10回開催しました。体幹トレーニングや軽スポーツに取り組みました。
- ③ 命のバトンの普及活動として、建部全戸に命のバトンの紹介し、配布希望者を募りました。



7. 広報活動への取り組み

建部の良さとコミセンの活動やまち協の活動を広く知ってもらうため、「建部だより」をコミセンと共同で毎月発行。30年度は建部地区の自治会取材し、掲載しました。



●中野地区まちづくり協議会

(愛称) なかのよいまち

(テーマ、スローガン) みんなでつくる なかの よいまち

【平成30年度】

設立日	平成18年12月9日	認定日(当初)	平成18年12月14日
コミセン 指定管理開始日	平成23年4月1日	認定日 (条例による認定)	平成28年4月1日
事務所 連絡先	〈所在地〉東近江市中野町781番地5 中野コミュニティセンター内 〈電話番号・FAX〉0748-22-0154 〈IP番号〉050-5802-2311 〈e-mail〉nakano-machikyo@e-omi.ne.jp		
代表者	代表 西川 昭		
会議・組織	役員29人(運営委員、監査) 運営委員27人(代表、副代表、事務局長、会計、幹事) まちづくり委員35人(自治会選出、公募委員) 総会構成員103人(まちづくり委員、自治会長、各種団体長、市担当職員) ・まちあるきプロジェクト外 ・歴史探訪プロジェクト外 ・山と川保全推進プロジェクト外 ・50年森整備 ・棕の木保全 ・広報委員会 ・婚活 ・もろてな市		
予算等の概要	総合交付金 1,706千円 指定管理料 12,121千円 その他収入 652千円		
情報紙の発行	まちの情報紙「中野地区まちづくり協議会 広報紙」 A4版4ページ 6月、9月、1月、3月 年4回発行 発行部数2,500部/回 〈主な内容〉 地域に身近でホットなニュース、いま・むかしコーナー、特産品の紹介、サークル紹介、まち協事業、まち協総会報告等		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	<p>中野コミュニティセンターの指定管理を受託したことから、自治会連合会や各種団体との連携を強め、中野地区のまちづくりを進めています。</p> <p>まちづくり協議会の発足準備段階から続けてきた「円卓会議」(毎月7日開催)は住民が自由な立場で中野地区のまちづくりを語り合う場として続いてきています。最近では議論が活発になり、婚活の継続、もろてな市の本格的な取り組み、地区社協をはじめ他団体との協働が進んできています。また、地区内のNPO、一般社団法人との連携で新しい人材の確保も進みました。</p> <p>中野地区の3大事業として、自治会連合会、各種団体が実行委員会で開催している夏まつり、運動会と文化祭の実行委員として、その運営により企画段階からも積極的に参画をしています。また、まちづくり協議会の大きな事業である「50年森整備事業」には、自治会連合会によって獲得いただいた資源を活用し、一定の成果を内外から受けています。今年度も、子どもの社会活動を進める地球ハートヴィレッジとの協働で多くの事業に取り組むことができました。</p> <p>市の職員が地域担当として関わり、市行政との連携が進み、共に地域を創り上げていく体制が整ってきました。コミュニティセンター西側の広場についても市で取得確保していただいたことで、センターと一体的な活動に期待がもたれています。今年度は地域の住民の皆さまを交えて利活用について議論を重ねてきましたが、次年度に向け具体的にこの事業を進めるための体制作りも課題となっています。今年度は県内外から中野地区に視察が多く、この地区の特徴である地域の他団体との協働がアピールできました。</p>		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

ご家庭でできた
野菜やくだものを食べ助け
にんじん・じゃがいも・かぼちゃ
さつまいも・ズッキーニ・リンゴ・柿 など

家で育てた
花などの植物

お米
家に余っている
古いお米 など

第4回 顔みてしゃべって おすそわけ
もろてーな市

日時 11月25日(日)10:00~12:00

場所 中野コミュニティセンター 大ホール

募集品目 野菜、米、ご家庭で眠っているモノ など

※野菜のみ当日持ち込みも受付いたします！
※おすそわけのため無料(ただし、野菜や米など一部有料です)
※駐車場には限りがあります。

参加者と出品者を
募集しています！
(詳細は裏面)



家庭で眠っているモノ/
衣類・食器類・自転車・おもちゃ・学校用品(上靴・体育
館シューズ・ピアノ・体操服)文房具・長靴・家電 など
※新品ではなくてもOKです。

日用雑貨
や調味料
など

主催：なかのよいまち推進会議 おすそわけプロジェクト
中野地区まちづくり協議会・中野地区社会福祉協議会
もろてーな市の開催(4月、7月、11月、3月)



文化祭バザー出店



文化祭前夜祭(木猫隊コンサート)



彼岸花再生プロジェクト



県職員研修



平成30年度総会

● 八日市地区まちづくり協議会

【平成30年度】

設立日	平成18年12月2日	認定日(当初)	平成18年12月5日
コミセン 指定管理開始日	平成24年4月1日	認定日 (条例による認定)	平成28年4月1日
事務所 連絡先	〈所在地〉 東近江市八日市町 9-20 八日市コミュニティセンター内 〈電話番号〉 0748-23-4120 〈IP 番号〉 050-8034-1141 〈FAX〉 0748-23-4120 〈e-mail〉 ykaich-c@e-omi.ne.jp 〈ホームページ〉 https://www.facebook.com/yokaichimachikyo/ 八日市冒険遊び場 http://yokaichiplaypark.shiga-saku.net		
代表者	代表 高村 修	会員数	全住民が対象
会議・組織	執行役員会 年4回(代表、副代表2人、常任理事3人、事務局長、会計、 コミセン館長、地域担当職員) 理事会 年4回(総自治会長6人、コミセン部会5人、プロジェクト部会 7人、会員より3人、広報委員より3人、地域おこし協 力隊委員1人、地域担当職員) 広報委員会 年4回(編集委員長1人、委員5人) プロジェクト: 延命夢クラブ、箕作山麓里・山づくり、八日市冒険遊び場、花い っぱい、いきいきあったかサロン、子育て支援、八日市つなが り、清水川湧遊、防災、歴史文化、イーストレインポー		
予算等の概要	一般会計 1,942千円 指定管理会計 14,590千円 特別会計 4,300千円		
情報紙の発行	八日市まち協だより A4版4ページ 年4回発行 発行部数 2400部/回 主な内容: まち協の活動報告、わがまち探訪、きらり~この人~、 八日市ピンポイント、各プロジェクトの活動報告、 コミュニティセンターの事業報告、各総区(自治会)紹介など		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などでPR できること	<p>平成30年3月に歴史文化プロジェクトを立ち上げ、ふるさと絵屏風の制作を進めています。</p> <p>ふるさと絵屏風は、昔の記憶を思い出し、写真や資料を集め、聞き取りやまち歩きなどをして、なつかしいふるさとの様子を絵にするもので、過去を知ることによって未来のまちづくりに繋げていこうとするものです。</p> <p>30年度には、各シニアクラブやサロン、総自治会などを通じて「ふるさと五感アンケート」を収集しました。アンケートでは、八日市地区が一番賑わっていた昭和20年代から40年代の様子を、五感(視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚)体験として、人々の記憶の引き出しを開けます。集まったアンケートは、1,000項目を超え、これを分類し作図へと進みます。</p> <p>31年度は、いよいよ絵屏風の制作に取り掛かりますが、八日市地区の多くの方に関わっていただく予定をしております。</p>		

指定管理・組織運営・他団体との連携・まちづくり活動等の取り組み紹介
歴史文化プロジェクト「ふるさと絵屏風」づくり、始まりました。



各シニアクラブやサロンに出かけて、滋賀県立大学の上田洋平先生にふるさと絵屏風について説明をしていただきました。

ふるさと五感アンケートをもとに聞き取りをしました。



わくわくこらぼ村でもふるさと絵屏風づくりをPR

甲賀市で開催された絵屏風フォーラムに参加。熱心に絵屏風の描き方をお聞きしました。



● 南部地区まちづくり協議会

(愛称) ときめく南部(まち)

(テーマ、スローガン) 誰もが笑顔で暮らし、活力あふれるまち

【平成30年度】

設立日	平成17年9月19日	認定日(当初)	平成17年10月17日
コミセン 指定管理開始日	平成23年4月1日	認定日 (条例による認定)	平成28年4月1日
事務所 連絡先	〈所在地〉東近江市沖野2丁目1番34号 南部コミュニティセンター内 〈電話番号・FAX〉0748-23-1573 〈IP番号〉050-8034-1573 〈e-mail〉nanbumachikyo@e-omi.ne.jp 〈ホームページ〉現在リニューアル中		
代表者	会長 森 基一	会員数	77人
会議・組織	役員会6人(会長、副会長3人、事務局長、会計)(内副会長1人は自治連会長) 運営委員会17人(役員、専門部会長(兼務有)コミセン館長、地域担当職員) 評議委員会30人(役員、地区内自治会長14人、各種団体長10人) 拡大運営委員会 運営委員全員 会員の範囲 趣旨に賛同する個人、各自治会からの推薦者、各自治会(団体会員)		
予算等の概要	一般会計 224万円 指定管理会計 1273万円 特別会計 248万円(ダンボールコンポスト)		
情報紙の発行	1. まち協会員向け「ホットニュース」A4両面版、毎月25日発行 事業日程並びに参加案内及びイベント案内 2. 南部地区内総合広報紙「南部だより」毎月発行 トピックス及び実施事業案内を掲載		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	1 地区内4大イベント(南部まつり、納涼夏祭り、運動会、文化祭)協力と参画 2 可燃ごみ減量化と循環型社会づくりを目指す各種コンポスト事業の強化継続 再資源可能物コーナーの管理運営継続 3 休耕田を活用し野菜栽培を通じて、地域の児童等とのふれあいを深める 4 地域学校協働活動への参画 ・八日市南小学校長期休業(年3回)における学習支援活動への協力 ・八日市南小学校4年生児童への学習支援 5 八日市南小学校子ども森の維持管理 6 八日市南小学校校庭の芝生化への参加、支援 7 安全・安心のまちづくり推進に伴う各種事業の実施等 ・シニア層を対象とした専門講座の開設 ・毎月2回(交通安全日)通学路交差点における交通安全立ち番と子ども達 への挨拶運動の継続実施 ・地域美化活動として毎月一回道路沿いのゴミ拾い ・命のバトンの配布事業を継続中。 ・地域住民福祉活動計画の一環として「ほっとまちカフェ」の運営 なんぶ地区にちなみ毎月7日に開催		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

- 1 コミュニティセンターの運営管理
 - ・毎週土曜日午前中開館（職員の輪番制にて）
 - ・休日貸館の管理
 - ・コミュニティセンター内外環境の整備、維持管理
- 2 地域住民へのPR活動を強化し意見調整の場を設け、充実した活動の展開
 - ・先進地研修等の企画推進
- 3 “なんぶまちづくり”のHPのリニューアル（検討中）
 - ・意見集約と管理体制の確立
- 4 南部地区の防災・減災
 - ・自治会、地区社協、自主防災組織等との連携
 - ・自主防災組織未設立自治会への働きかけ
- 5 少子高齢化時代に役立つ地域風土作り
 - ・老若男女が集える場づくりで、ほっとまちカフェを継続
 - ・地域特性を踏まえた住民参加による支え合いづくりの推進
 - ・“粋・生きサロン”で和服リフォームを通じて、生きがいづくり
 - ・命のバトン配布事業の推進
- 6 住民の環境意識を高め、ごみ全体の減量化から、収集経費及び処理費用軽減の節約
 - ・各種コンポスト事業の普及啓発活動の推進
 - ・「生ごみ堆肥講座・菜園講座」の開催を通じて、堆肥の活用方法を啓発
 - ・資源ごみの分別収集を推進し、再資源化を協力に進める
- 7 男女・年齢を問わず皆が集い、学び趣味を生かせる場作り
 - ・愛犬家による地域パトロール
 - ・休耕田を活用した野菜の収穫体験学習や子ども森で焼き芋体験
 - ・3R（リフォーム・リユース・リサイクル）を積極的に推進
 - ・学習支援活動（〇〇休みがくしゅう会）で学習の習慣づけ
 - ・あびこ（挨拶・美化・交通安全）活動の継続展開
- 8 地域の成り立ち学習
 - ・「心象沖野開拓絵図」を活用して、南部地区の歴史と成り立ちを伝承
八日市南小学校4年生の総合学習で実施

夏まつり

いもほり体験



八日市南小学校



八日市南こどもの家



● 永源寺地区まちづくり協議会

(愛称) We Are The One “みんなでひとつ”

(テーマ、スローガン) 里いっぱい 新 呼吸 笑顔のまち えいげんじ

【平成30年度】

設立日	平成17年9月30日	認定日(当初)	平成17年10月17日
コミセン 指定管理開始日	平成26年4月1日	認定日 (条例による認定)	平成27年4月1日
事務所 連絡先	〈所在地〉東近江市山上町 1316 番地 永源寺コミュニティセンター内 〈IP 番号・FAX〉050-5802-9336 〈e-mail〉e-net6500@e-omi.ne.jp 〈ホームページ〉http://members.e-omi.ne.jp/e-net6500/		
代表者	会長 山田 重三	会員数	79人
会議・組織	役員会(会長、副会長、監事)6人 随時開催 運営委員会(役員、部会長、会長が指名した者) 概ね月1回開催 専門部会 6部会 随時開催		
予算等の概要	◆30年度予算総額 638,5千円 収入内訳 交付金3,243千円、受入負担金270千円、受入拠出金800千円 事業収入470千円、受託料1,172千円 ほか 支出内訳 広報費600千円、まちづくり計画部会活動費250千円、 まちづくり計画事業推進費3,130千円、受託事業費1,172千円 活動負担金590千円、まち協事務局費308千円 ほか		
情報紙の発行	「e-NET6500」年6回発行 A4/最大12頁 カラー(現在:No.82) まちの話題、まちきょうだより、クローズアップ 他 「e-NET6500情報版」毎月発行 A4/4頁 白黒(現在:No.165) イベント等告知、くらしのカレンダー、学校・園だより、コミセンだより他 ホームページ 随時更新		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	「自らの地域は自ら考え自ら行動していく」を基本に、地区の伝統文化を再 発見し継承していくと共に、次代を担う人材を地域の子育て団体と協力し、地 域活力を生み出す、そんなまちづくりをめざす。 ○地域の良さを再認識し、継承していく取り組み ・千草街道の整備及びわがまち探訪事業(千草街道を往く、白ヤシオの観察) ・きらり! えいげんじ再発見事業 ・国道421号整備(もみじ、永源寺桜の植栽) ・大本山永源寺のライトアップ ○環境にやさしいまちづくりへの取り組み ・ゴミの分別意識の高揚(エコキャップ、プルトップ、割り箸等の回収) ・大型金属資源回収 ・花と緑に囲まれたまちづくり(花苗の配布) ○情報誌などを通じ、地域連携を深め地域福祉の推進を図る。 ・子育て応援事業 ・みんなの夏休み(夏祭り) ・みんなのふるさと祭り ○地域固有の資源を活用して活動することにより、地域の良さをみんなで共有 し、地域に対する誇りと愛着心の醸成に繋げていく。まち協をより多くの住 民が参画しやすい組織にするため、事業やイベントを企画・運営すること について、各自治会、「道の駅 奥永源寺溪流の里」、地区内の関係団体等と連 携を深め、永源寺地区の一体化を図る。		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

- 平成26年4月1日より永源寺コミュニティセンターを指定管理しており、コミセン事業とも連携したまちづくりに取り組んでいます。
- 自治会連合会と連携し、行政に対し意見や要望を直接伝える市政懇話会への参加や自治会単位では困難な大型資源ゴミ回収を開催しています。
- 文化の薫る個性あるまちづくりを進めてきましたが、さらに磨きをかけ永源寺の魅力を高めるために関連するイベントの開催、登山コースの整備、花いっぱい運動などを実施。
- 福祉団体と協力し、地域へ若者をと婚活事業に取り組んでいます。
- 情報誌の充実により、まちづくりに取り組んでいるまちづくり協議会や各種団体の活動を紹介し、地区住民へ参加および啓発を呼び掛けています。

千草街道を往く



ごみゼロ大作戦



大型資源ゴミ回収作業



総会



永源寺ライトアップ（ともしびミニライブの開催）



● 五個荘地区まちづくり協議会

(愛称) GO!まち協

(テーマ、スローガン) 心イキイキはつらつと 皆んなが愉しむまちづくり

【平成30年度】

設立日	平成18年3月18日	認定日(当初)	平成18年3月23日
コミセン 指定管理開始日	平成25年4月1日	認定日 (条例による認定)	平成27年4月1日
事務所 連絡先	<p>〈所在地〉 東近江市五個荘小幡町318 五個荘コミュニティセンター内 〈電話番号〉 0748-48-7303 〈IP番号〉 0505-801-7303 〈FAX〉 0748-48-6454 〈e-mail〉 go-machikyo@e-omi.ne.jp 〈ホームページ〉  〈フェイスブック〉 </p>		
代表者	会長 小杉 勇	会員数	地区住民全員
会議・組織	<p>役員会 7人(会長、副会長、顧問、事務局長、館長) 運営委員会 23人(役員、相談役、各事業部正副部長、有識者) 事業部会 安心・安全部会15人、環境部会11人 歴史・文化部会17人、地域福祉部会20人、情報誌部会6人 自治会推薦まち協推進員46人 地域担当職員6人、地域イベント協力隊82人 中山道五個荘にぎわい実行委員会19人 東近江トレイル実行委員会7人 構成員 五個荘地区に在住、在勤する全ての人と地域の活動団体</p>		
予算等の概要	<p>一般会計 7,170千円 指定管理会計 29,600千円</p>		
情報紙の発行	<p>まちづくり情報誌「GO!まち協」 A4版8ページ 偶数月 6回発行 発行部数4千部/1回 〈主な内容〉 特集、まちの話題、ひと・まち・団体の紹介、行事予定 他</p>		
指定管理や組織 運営、自治連や各 種団体との連携、 まちづくり活動 などで特にPR できること	<p>【重点施策】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、地域課題と地区の特性を活かした「第二次まちづくり2030年プラン」の策定を完了し、地区全住民の皆さまに周知と説明の機会を設ける。 2、「自治会連合会」「地域おこし協力隊」「地域担当職員」「五個荘支所」との連携を深め、五個荘地区の自然や歴史・文化等の地域資源を活用した地域の活性化を目指す。 3、地区内の各種団体と連携を強化し、特に地区内における社会福祉活動に重点を置き、関係機関や団体との意思疎通を図る。 4、「中山道灯り路」、「てんびんの里ふれあい広場」、「地区文化祭」、「てんびんの里わくわく広場」を地区のメインイベントと位置付け、地区住民がつながりあえる事業を実施する。 5、中山道五個荘にぎわい事業で沿線の歴史遺産を掘り起こし、地域の活性化と交流人口の増加と観光事業に寄与する。 6、東近江トレイルコース(猪子山・織山・箕作山)の山道整備など、里山保全活動を推進する3団体や健康推進団体とも協働して、地元はもちろん県内外からも広くツアー客を誘致し、ふるさとの自然に親しむ機会を設ける。 		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

【安心・安全事業部】

◇「防災視察研修会」



←自治会連合会と協働共催で神戸市「人と防災未来センター」を視察。減災防災意識の向上と災害の備えを学びました。

【環境事業部】

◇「ダンボールコンポスト」の推進(講習会の開催など)

◇大型金属資源回収(年3回実施)



↑ H23年に五個荘が生ごみ減量化活動に取り組み始めてから、可燃ごみは7年間で★排出量 1,589トン★処理費用 5,244万円減らすことが出来ました！(23年度比)

↑延べ100人のボランティアが年間約22トンの金属資源を回収しています。

【歴史・文化事業部】

◇「中山道灯り路」

中山道沿線自治会が創作行燈約3,000基を飾ります。うまいもん市やスタンプラリーなど訪れる人が楽しめる、地域に密着した魅力的なイベントです。



【地域福祉事業部】

◇てんびんの里ふれあい広場



↑五個荘地区最大のイベント。約8,000人の来場者でにぎわいました。

◇歌声喫茶「ピーちくパーク」



↑ピアノの生演奏に合わせてみんなで楽しく歌います。

◇きぬがさ山トレッキング



↑五個荘小学生が「緞山」を登り、ふるさとの山の魅力を満喫しました。

【情報誌事業部】

◇「GO!まち協」発行

→まちの話題や行事予定など地域の情報満載！「五個荘クイズ」も大人気。



僕「てんびん坊や」です。まち協広報マンとして活躍中です！



●愛東地区まちづくり協議会

(愛 称) 愛の田園ネット

(テーマ、スローガン) あいとう大好き! あいとうの元気とやさしさを未来につなごう

【平成30年度】

設立日	平成17年5月21日	認定日(当初)	平成17年7月21日
コミセン 指定管理開始日	平成24年10月1日	認定日 (条例による認定)	平成27年4月1日
事務所 連絡先	〈所在地〉東近江市下中野町431番地 愛東コミュニティセンター内 〈電話番号・IP番号〉050-5802-8614 〈FAX〉0749-46-2270 〈e-mail〉machinet@e-omi.ne.jp 〈ホームページ〉http://membere.e-omi.ne.jp/machinet		
代表者	会長 村山 邦博	会員数	105(家族・自治会・賛助会員)
会議・組織	役員 9人(会長、副会長、監事、事務局長、事務局次長、館長、顧問) 運営委員会 24人(役員員、専門部会長、地域おこし協力隊、地域職員等) 評議員 22人(自治会長) まちづくり委員 22人(各自治会) 【専門部会】広報部、防災部、自治まちづくり部、地域ふれあい活動部、花づくり部、福祉部会、若者のまちづくりプロジェクト、愛のまち交流プロジェクト、獣害対策プロジェクト、イベントサポートプロジェクト		
予算等の概要	総合交付金 2,669千円 指定管理料 25,852千円 その他収入 4,928千円		
情報紙の発行	元気なまちづくり情報誌「愛の田園だより」 A4版8ページ 毎月発行 発行部数1,500部/月 〈主な内容〉特集、地域の話、イベント、コミュニティセンターの情報等		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	<p>(1)「愛東地区はいつも元気で、みんな頑張ってるね。いいところやなあ」と言われるような「まち協活動」に取り組みました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三位一体(自治連・まち協・支所)によるまちづくりを推進するために、「まちづくり三者合同会議」の開催で連携を深めました。 ・「愛の田園づくり会議」を設立しました。愛東地区自治連、元、前、現市議会議員、まち協OB、他有識者で構成し、愛東地区の課題を高所、低所から掘り起こし、解決に向け市行政に積極的に働きかけました。 <p>(2) 愛東地区の歴史の中で培われてきた素晴らしい地区の誇りと絆を高める取り組みを行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏まつりは台風で中止になりましたが、秋まつりはより一層の工夫で、多くのみなさんに来ていただき、ふれあいを高めました。 ・成人式に祝福花火をプレゼントし、二十歳の方に祝意を伝えました。 <p>(3) これらの実現のために、ボランティア精神で結集し、叡智を絞り、事業を起こし、皆さんに提案し、共に実行してきました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月の西日本豪雨被害の災害ボランティアを募り、8月3～4日に6人の会員が岡山真備町でボランティア活動を行いました。 		



指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

「元気で楽しんでもらえる」コミュニティセンター活動の実施

「あいとうの個性をつくる」「生きがいをエンジョイする」「コミュニティをつくる」の三本柱のもとに、愛東地区のみなさんが「つどう・まなぶ・むすぶ」事業を行いました。

工夫した「にぎわいのイベント」で、愛東地区民の方々の出会いをさらに広める活動

- 7月28日に計画していた「あいとう夏まつり」は台風接近のため中止しました。
- 10月26日（金）～10月28日（日）あいとう文化まつり（愛東地区文化協会作品展）
- 10月28日に「あいとう秋まつり」を実施（来場者約1,500人、バザー出店18店）
ステージイベント（マジック、歌謡ショー、大抽選会等） じゃんけん大会
- 12月8～24日「出前サンタ」を実施。保育園、幼稚園、各自治会のクリスマス会（8件）と3つの家庭にサンタが
伺って、子どもたちに夢を与えました。
- 各自治会のまつりに、綿菓子器やかき氷機、テントなどの貸出しをしました。



南海トラフ地震に備えるため、「防災シンポジウム」をタイムリーな時期に実施

- 8月26日に自治会長、まちづくり委員合同の「防災研修会（講師 佐々木和之氏）」を開催
- 11月25日テーマ「気象災害から学ぶ風と雨の備え」講師：NHK気象予報士 石井元樹氏
【主催…愛東地区まちづくり協議会&東近江市消防団第5方面隊】
最近の異常気象を、滋賀県や当地域の特徴をふまえ、危険を増している風や雨などの備えについてシンポジウムをしました。



「命のバトン」のさらなる浸透を図る

各家庭の冷蔵庫に設置してもらうため、お祭りなどのイベントでメッセージコンテストの開催等、広報活動の強化に努めました。そして、継続して実施してもらうために、8月10日を「バトンの日」と決め、バトン用紙の内容を新しい情報に書き換えていただくよう、8月8日・9日に街宣車で広報しました。

愛のつく町との交流を深める

- 北海道愛別町との交流事業を行いました。8月26日に愛別町の小中学生9人が来訪、夏まつりで愛別町トウモロコシ販売を計画していましたが、台風で中止になりました。民泊をしながら2日間愛東地区を満喫されました。
- 9月8日は、愛東地区民有志5人が愛別町の「きのこの里フェスティバル」に参加、あいとう梨、ぶどうを販売予定でしたが、台風で急遽愛別町役場玄関先で販売、即完売の人気でした。
- 12月25～28日は「アドベンチャー北海道」を開催。10人の愛東地区の子どもたちが参加、愛別町で交流を深めました。



獣害対策

11月10日に兵庫県立大の川端直人教授を講師に招き、獣害対策研修会を開催しました。12自治会から約50人の参加をいただきました。

イベントなどへの模擬店の出店

まち協や万燈祭、スポーツフェスティバルなど各種イベントに模擬店の出店を行い、イベントを盛り上げました。

滋賀国際映画祭の開催

11月23日～25日に滋賀国際映画祭に参加し、映画のまちづくり活動をしました。

花づくり活動

改良が完成した池之尻町の国道307号線と県道の交差点に、長方形の「水やり省カプランター」を新たに設置し、往来する方にアピールしました。

● 湖東地区まちづくり協議会

(愛称) 好きやねん湖東

(テーマ、スローガン) いきいき ほのぼの わくわく あったか湖東時間

【平成30年度】

設立日	平成17年7月14日	認定日(当初)	平成17年9月20日
コミセン 指定管理開始日	平成24年4月1日	認定日 (条例による認定)	平成28年4月1日
事務所 連絡先	〈所在地〉東近江市池庄町495番地 湖東コミュニティセンター内 〈電話番号〉0749-45-0950 〈IP番号〉050-5801-0950 〈FAX〉0749-45-2049 〈E-mail〉suki-koto@e-omi.ne.jp 〈ホームページ〉http://www.sukisuki-koto.jp/		
代表者	会長 小島 善雄	会員数	地区内市民が対象
会議・組織	総会、理事会、運営委員会、まちづくり推進員会議 部会：広報部会、防災コミュニティ部会、みどり環境部会、 湖東企画部会、福祉部会 プロジェクト：まちカフェプロジェクト、湖東歴史文化プロジェクト 子育て支援プロジェクト、福結びプロジェクト こどもいきいきプロジェクト		
予算等の概要	一般会計 4,883千円 指定管理会計 33,180千円		
情報紙の発行	まちづくり情報誌『好きやねん湖東』 毎月1回発行 コミュニティセンターと共同編集、発行部数2,700部/月、A4版4面 〈主な内容〉表紙には話題となった写真コメント、まち協の活動紹介、地域の活動紹介、話題の人、コミュニティセンター関係記事など		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	<p>◎ 自治会との連携</p> <p>理事には今年度の自治連会長と、各自治会まちづくり推進員から3人に就任していただいています。自治会長や各種団体の皆さんに輪転機や大型プリンターを利用していただいているため、まち協に頻りに足を運んでいただいています。</p> <p>◎ 各種団体との連携</p> <p>各種団体からも5人、まち協の理事に就任していただいています。団体の活動、事業など、広報で紹介しています。</p> <p>◎ 災害に強いまちづくり</p> <p>湖東地区防災ネットワークを立ち上げ、自治会より代表者の方に参加いただき、避難場所別に分かれて話し合いを進めています。</p>		



湖東地区防災ネットワーク会議

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

★ まちづくり計画改訂版 完成！

2年前から取り組んでいるまちづくり計画改訂版が完成しました。この計画書をもとに、活動を進めていきます。

★ 理事会 随時開催

★ 運営委員会 月2回程度開催

★ 広報部会

広報「好きやねん湖東」の取材・編集・発行、ホームページの管理をしています。

★ 防災コミュニティ部会

湖東地区防災ネットワークの他にもDIG出前講座、防災マップ作成講座、防災教室、防災運動会のプロデュース、防災食体験などを開催し、地域住民の防災意識向上に引き続き取り組んでいます。

★ みどり環境部会

資源ゴミ回収を年に2回行っています。その他、まち協菜園の管理を行っています。

★ 福祉部会

福祉懇談会の開催や高齢者の方を対象にした市内見学、見守りも兼ねた季節の味お届けサービス、一人暮らしのつどいの実施。また、自治会に対し、福祉用具の助成や活動助成を行っています。

★ 湖東企画部会

コトナリエ2018（実行委員会制）、ことうふるさとまつり（実行委員会制）の開催、「おうちにサンタがやってきた！」の実施



←コトナリエ
2018

ことう
ふるさとまつり



★ まちカフェプロジェクト

毎月3回のカフェの他に、未就学児を対象にした「ちびっこゆうすずみ会」、夏休み中の小学生を対象にした「宿題教室」、今年度より始めた「手作りマルシェ」は、大変好評でたくさんの方に参加していただきました。また「出前カフェ」もはじめ、自治会のサロンにお邪魔しました。



手作りマルシェの様子

★ 湖東歴史文化プロジェクト

湖東地区の“むかし”について、講座を2回、勝堂古墳群フィールドワークと懇談会を開催しました。自分たちが住んでいる地域の歴史を見つめ直し、新しい世代とともにこの地に対する思いを共有する活動を今後も進めていく予定です。

★ コミュニティセンター運営

湖東コミュニティセンターは築38年を経過し、老朽化が進み、大規模改修を必要としていますが、照明器具や空調設備の改修を行い、利用者さんの安全確保と快適な空間作りの提供に努めています。

● 一般社団法人能登川地区まちづくり協議会

(愛称) ホップ♪ステップ♪のとがわ

(テーマ、スローガン) 住みよい 住みたい 住み続けたい 水車のまち 能登川

【平成30年度】

設立日	平成19年3月10日	認定日(当初)	平成19年3月13日
コミセン 指定管理開始日	平成24年4月1日	認定日 (条例による認定)	平成27年4月1日
事務所 連絡先	<所在地> 東近江市鉢光寺町262番地 能登川コミュニティセンター内 <IP電話番号> 050-5802-2793 <FAX> 0748-42-1556 <E-mail> notomatikyo@e-omi.ne.jp <ホームページ> http://notomatikyo.com/		
代表者	会長 藤居 正博	会員数	196人
会議・組織			
予算等の概要	一般会計 624万4千円 指定管理会計 6,219万円 総額6,843万4千円		
情報紙の発行	■まちの情報紙「ホップ♪ステップ♪のとがわ」 A4版 8ページ(カラー4、白黒4) 偶数月 年6回発行 発行部数8,500部/回(全戸配布) ■会員情報紙「のとまち協 NEWS」毎月1日発行(260部)		
指定管理や組織運営、自治連 や各種団体との連携、まちづ くり活動などで特にPRで きること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 11月、能登川コミュニティセンター移転3年経過、年間利用者10万人に。 ○ 5月、「文化講演会」(講師:フリーアナウンサー 山本浩之氏)に協賛 ○ 6月、「舍利」公演に能登川中学校3年生230人、11月、びわ湖ホール「声楽アンサンブル」公演に、能登川地区の4小学校6年生210人を招待し、本物の古典や音楽に身近に触れる機会を提供 ○ 10月、「第26回能登川ふれあいフェア」(来場者約4万人)に協賛 ○ 10月、「市政懇話会」で、地域課題の解決に向け、市と協議を行った。 ○ 11月、「能登川病院をよくする会」設立5周年の総会・懇親会を開催 ○ 12月、「第15回 Lighting Bell in NOTOGAWA」を共催 ○ 能登川中学校生徒会の美化活動「フラ輪プロジェクト」に協働し、JR能登川駅周辺花壇設置と水やりの活動を継続支援 ○ 自主防災、e防災マップづくり、DIG,HUG等の研修会、自治会への出前講座、総括として「活動成果発表会」を開催し、防災意識の向上を図った。 ○ 地域課題を共有し、将来的なまちづくりを多方面から検討するため、「まちづくりカフェ」と名付けた自治会毎(現有53自治会)の懇談を開催 ○ 「栗見プロジェクト」(琵琶湖岸復活大作戦)に取り組んだ。 		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介<写真で綴る活動紹介>

広報事業部
情報紙発行



能登川ふれあいフェア

10/21 地域の方々の交流の場、4万人が集いました。



まちづくり事業部

9/9 まちづくり委員と市内の日本遺産めぐり研修を催行しました。伊庭の町並み(下)



栗見プロジェクト 湖岸景観の美化・自然環境の保全を住民参加で行うため、7月から活動開始。次年度も継続します。



環境事業部 11/28 能登川中学校美化活動「フラ輪ープロジェクト」支援。JR 能登川駅前を花で飾ります。フラワーポットは現在39基になりました。



健康福祉事業部

11/25「能登川病院をよくなる会」は、設立5周年の節目に、小椋市長を招き、総会及び懇親会を開催。活動の総括と今後の方針を確認しました。



歴史・文化事業部

能登川南小学校との猪子山森林再生プロジェクト(里山整備活動)が、「わがまち協働大賞 優秀賞」を受賞、12/1 わくわくこらぼ村会場で表彰されました。



第15回 2018

LightingBell in NOTOGAWA 林中央公園を飾る15万個のイルミネーションは心を温めます。(開催:12/15~12/24)



施設運営事業部 コミュニティセンターホールでの能装束着付実演と能『舍利』公演(6/23 下左)に能登川中学生230人を、びわ湖ホール声楽アンサンブル公演(11/8 下右)に能登川地区4小学校6年生210人を招待、本物との出会いを実現させる。その他、グラウンドゴルフ、ゲートボール大会を主催、指定管理施設の有効利用から地域住民の健康と生き甲斐づくりに努めました。



● 蒲生地区まちづくり協議会

(テーマ、スローガン) このまちで心豊かに住み続けたいと思えるまちづくり

【平成30年度】

設立日	平成18年11月18日	認定日(当初)	平成18年11月22日
コミセン 指定管理開始日	平成25年4月1日	認定日 (条例による認定)	平成27年4月1日
事務所 連絡先	〈所在地〉 東近江市市子川原町461-1 蒲生コミュニティセンター内 〈電話番号・FAX〉 0748-55-3030 〈IP番号〉 050-8035-8437 〈e-mail〉 gamomachikyo@e-omi.ne.jp 〈ホームページ〉 http://higashio-me.com/member/gamomachikyo/		
代表者	会長 佐川 昭子	会員数	14,814人(H31.1.1現在)
会議・組織	総会 111人(自治会代表、自治会まちづくり委員、地域活動団体代表) 役員会 5人(会長、副会長、事務局長、会計、(監事除く)) 企画会議 14人(役員、特別委員会委員長、専門部会部長) 運営委員会 32人(企画会議メンバー、運営委員、自治連三役) (特別委員会) まちづくり計画推進委員会18人 広報企画委員会 5人 ふるさと蒲生野川づくり委員会12人 (専門部会) ひだまり部会9人 ふれあい交流部会15人 エコランド部会3人(他にモニター30人) あかね部会8人 万葉ロマンの里づくり委員会8人 地域活性化部会10人 自治会まちづくり委員会42人(各自治会1名選出) 蒲生まちづくり会議(自治連役員、市関係者、県・市議会議員、農協、コミセン、 各種団体、まち協 他)		
予算等の概要	一般会計 10,500千円 (内会費 2,100千円、交付金 4,663千円、補助金 700千円 委託金 1,651千円) 指定管理会計 コミセン 39,046千円		
情報紙の発行	1 蒲生まち協の広報紙「がまチヨコ」 A4版4ページ 毎月20日4,800部発行 2 FMひがしおうみ(RadioSweet)81.5MHzにて 毎月第2土曜日11:00~(再放送 火曜日9:30~) 蒲生まち協番組「Happy Gamo」(30分)放送 〈主な内容〉 まち協の情報、自治会のまちづくり紹介、各種団体の活動紹介 等		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	まちづくり計画を軸に、自治会連合会とまち協が両輪となり関係団体、企業等 と連携しながら年間の活動を展開している。その上で、 1. 自治連との連携強化 自治連とまち協の合同研修会として年1回、県内各地へ視察研修を実施 (H30年度は、支え合い地域づくりの先進地として米原市大野木「(一社)大 野木長寿村まちづくり会」で研修) 2. まちづくり会議の開催 蒲生地区の抱える課題等について県・市議はじめ蒲生地区の各分野で活躍さ れている方々と意見交換会を開催 3. 2030年を目指し改定した「まちづくり計画書」に基いた事業を進めるため、 「(一社)がもう夢工房」と連携した取り組みをおこなっている(食の六次産 業化、着地型観光、援農隊)		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

1 本部事業

- ・蒲生コミュニティセンターの管理運営を受託
- ・「蒲生まちづくり会議」の開催 ・「自治会まちづくり委員会」の開催
- ・「蒲生地区まちづくりフォーラム」の開催
- ・地域おこし協力隊への支援
- ・地域担当職員・地域応援隊との連携
- ・あかね夏祭り実行委員会の事務局担当
- ・いきいきあかねフェア実行委員会への参画
- ・大型金属性資源回収事業の実施
- ・「新年互礼会」の開催・各種団体との懇談会開催
- ・「(一社)がもう夢工房」への参画
- ・人材バンクシステムの構築・視察の受け入れ



【川づくり】



【大型金属性資源回収】



【まちづくりフォーラム】



【あかね夏祭り】



【まちづくり会議】

2 委員会活動

(1)まちづくり計画推進委員会

- ・6つの基本方針に沿ってまちづくりを進める
- ・まちづくり計画進捗管理

(2)広報企画委員会

- ・広報紙「がまチョコ」毎月発行
- ・FMひがしおうみ放送番組“HappyGamo”
毎月第2土曜日 11:00 から 30 分間放送
- ・各自治会、各種団体と連携し、情報収集

(3)ふるさと蒲生野川づくり委員会

- ・川づくり啓発活動の取組（のぼり、ポスター、チラシ等）
- ・日野川、佐久良川の現状調査の実施
- ・日野川、佐久良川モデル地区の「除草作業とゴミ拾い」作業の実施
- ・ふるさと美化「蒲生野の日」（第3土曜日）を定め、美化活動参加と意識向上の啓発



【新年互礼会】



【減災研修会】

3 部会活動

(1)ひだまり部会

- ・「安心、安全のまちづくり事業」
- ・自主防災組織の作成 ・マニュアルの作成、配布 ・命のバトン事業
- ・減災研修会の実施(HUG避難所運営ゲームの普及)
- ・シェイクアウト訓練実施



【健康教室】

(2)ふれあい交流部会

- ・まち協音頭、健康体操の啓発（各自治会のサロンに出向き啓発促進）
- ・縁側カフェ開催時に健康相談等の窓口開催
- ・健康づくり教室開催・健康料理教室の開催・食育講座の開催
- ・検診啓発・掘り所創造事業へ参画



【ゴーヤカーテン】

(3)エコランド部会

- ・健康野菜いっぱい運動 ・コンポスト（設置型・ダンボール）の普及
- ・ゴーヤカーテンの設置 ・市より生ゴミ減量化推進事業の受託

(4)あかね部会

- ・世代間交流事業「あかねGOSHU」企画の継続
- ・シニア世代の仲間づくり、生きがいづくり ・掘り所創造事業へ参画
- ・切れ目ない子育て拠点づくり事業（結婚活動支援事業・子育て支援事業）



【切れ目ない子育て拠点づくり】

(5)万葉ロマンの里づくり部会

- ・史跡見学 ・マックスクラブ（わくわくチャレンジ探検隊）への参加 ・「ガリ版伝承、野口謙蔵顕彰事業」の支援 ・「(一社)がもう夢工房」と連携し「着地型観光」プロジェクト活動
- ・観光情報のホームページ
- ・広報誌がまチョコに「がもうのはなし」を連載

(6)地域活性化部会

- ・「(一社)がもう夢工房」へ活動支援
- ・蒲生スマートインター周辺の市有地を有効利用
- ・特産品栽培管理事業(龍谷大学の指導を受け、新たな特産果樹の植栽)



【果樹植樹】

いつも、いまも、これからも。

PIONEER CITY

東近江イズム。

HIGASHIOMISM

地の利、人の和、自然の恵み。

まちを包むうるおい、にぎわい、こちよさ。

時代を変えてきた歴史への誇りを胸に、

新たな時代を拓く人がいる。

いつも、いまも、これからも。あなたとともに。

パイオニアシティ・東近江市



■面積 388.37 km²
■人口 114,482 人
■世帯数 43,912 世帯
(平成 30 年 10 月 1 日現在)

東近江市総務部まちづくり協働課
<平成 31 年 3 月発行>

〒527-8527 滋賀県東近江市八日市緑町 10 番 5 号
TEL 0748-24-5623 <http://www.city.higashiomi.shiga.jp/>